

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27年 6月 30日

計画の名称	2 安全で快適なまちなみの形成		
計画の期間	平成21年度 ~ 平成25年度 (5年間)	交付対象	大阪市
計画の目標	大阪市の中心地域や周辺部の交通結節点などの拠点となる地区において、バリアフリー化及び景観に配慮した人にやさしい施設を整備することで、地域の活性化と魅力にあふれる都市拠点形成を促進する。		

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者の安全性・快適性の向上に関する効果便益を、H25年度末には200%向上するように整備を進める。</li> <li>安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、被災時に安全な避難路が享受できる地域人口を2万人増加するように整備を進める。</li> </ul>
-----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考				
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)					
幅広歩道 (2.5m以上) の整備による沿道の効果便益の向上を算定する。 「歩行者安全性・快適性向上率」 = (目標年次での効果便益一整備前 (H21) の効果便益) / 整備前 (H21) の効果便益 × 100%	0 %	140 %	200 %					
避難路の整備延長をもとに、新たにその効果を楽しむことができる人口を算定する。 「安全避難享受人口」 = 目標年次での避難路整備延長 / 避難路整備予定延長 × 地区内人口	0	1.5万人	2.0万人					
全体事業費	合計 (A+B+C)	19,390百万円	A	0	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
大阪市内において、評価を実施。	平成27年6月
	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A1 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
								H21	H22			H23	H24	H25					
2-A1	街路	一般	大阪市	直接		区画	改築	0.55	淡路駅周辺地区	区画整理 (8.9ha)	大阪市						2,558		
2-A1	街路	一般	大阪市	直接		区画	改築	0.5	淡路駅周辺地区	区画整理 (8.9ha)	大阪市						168		
2-A2	街路	一般	大阪市	直接		再開発	改築	0.55	阿倍野地区	再開発 (25.2ha)	大阪市						2,442		
2-A3	街路	一般	大阪市	直接		区画	改築	0.55	長吉東部地区	区画整理 (44.9ha)	大阪市				.....		3,808		
2-A3	街路	一般	大阪市	直接		区画	改築	0.5	長吉東部地区	区画整理 (44.9ha)	大阪市				.....		1,157		
2-A4	街路	一般	大阪市	直接		区画	改築	0.55	三国東地区	区画整理 (39.1ha)	大阪市				.....		9,173		
2-A4	街路	一般	大阪市	直接		区画	改築	0.5	三国東地区	区画整理 (39.1ha)	大阪市				.....		84		
												合計					19,390		
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
							H22	H23			H24	H25	H26						
												合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考		
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
							H22	H23			H24	H25	H26						
												合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広歩道の整備により、歩行者の安全性・快適性が向上した。</li> <li>・施行地区内の道路完成に伴い、安全な避難路を享受できる人口が増加した。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（歩行者 安全性・快適性 向上率）	最終目標値	200%	目標値と実績値 に差が出た要因	建物移転交渉に時間を要したため、道路整備着手が遅れた。
		最終実績値	79%		
	指標②（安全避 難享受人口）	最終目標値	2.0万人	目標値と実績値 に差が出た要因	建物移転交渉に時間を要したため、道路整備着手が遅れた。
		最終実績値	1.5万人		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな社会資本総合整備計画「安全で快適なまちなみの形成」の取りまとめを行い、継続して事業を実施している。</li> </ul>					

計画の名称	2 安全で快適なまちなみの形成	交付団体	大阪市
計画の期間	平成21年度～平成25年度(5年間)		

